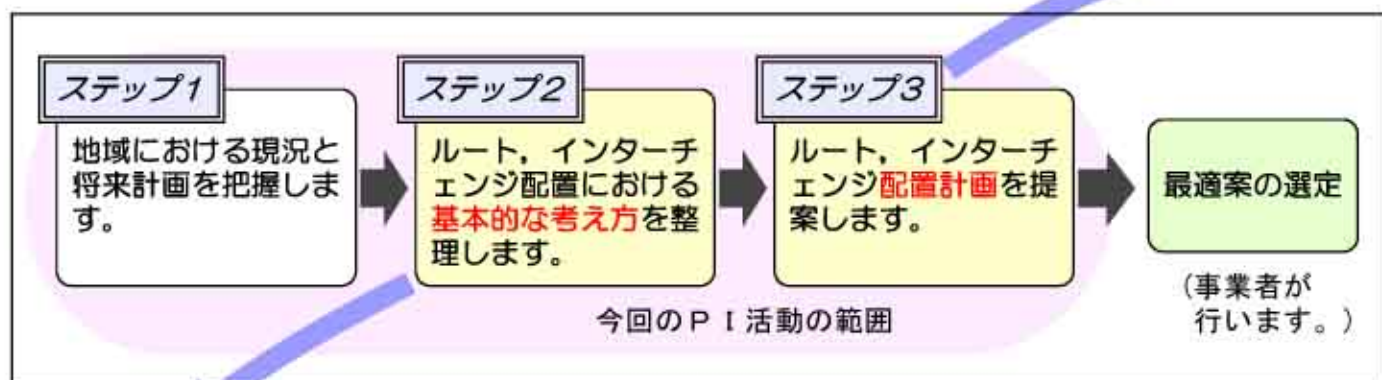


## その2 ルート及びインターチェンジの配置について

ルート及びインターチェンジ配置計画は以下の手順で行います。



### ステップ2 ルート、インターチェンジ配置における基本的な考え方を整理します。

大沢野道路が担う役割から、ルート及びインターチェンジ配置計画を提案する際に配慮すべき事項を以下のように整理しました。

#### 広域的には

- ①. 富山ー高山間をできるだけ短い距離で結ぶルートとします。
- ②. 八尾町をはじめ神通川左岸地域からの利用性に配慮したルートとします。

③. 将来のまちづくりの方向に配慮したルートとします。

④. 中大久保企業団地、高内地区工業集積地への利用性に配慮したルートとします。

⑤. 市街地への利用性に配慮したルートとします。

⑥. 既存道路と一体となった道路網を形成し、市街地をはじめとした都市活動に配慮したルートとします。

#### 大沢野町 にとって



#### 住民生活 にとって

⑦. 住宅密集地の通過を極力避けたルートとします。

⑧. 公共公益施設を極力避けたルートとします。

⑨. 圃場の斜め切りなど耕作地への影響が極力少なくなるルートとします。